三角形の合同証明 基本 |

学習日;

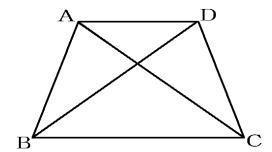
/ 点

Ⅰ ()をうめましょう。

右の図で、AB=DC、CA=BDである。このとき、 \triangle ABCと \triangle DCBが合同になることを証明せよ。

 仮定 (
)

 結論 (
)



 Δ ()と Δ ()において ←どの三角形についてかを書く

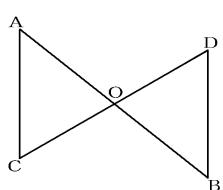
①, ②, ③より(

) ので ←合同条件を書く

△ABC≡△DCB ←結論

2 次の図で,点Oは線分AB,CDの中点である。このとき,

△AOC≡△BODであることを証明しなさい。



解答

- 仮定; AB=DC, CA=BD 結論; △ABC≡△DCB
 △(ABC) と△(DCB) において
 仮定より(AB) = DC・・・① (CA) = BD・・・② BCは(共通) ・・・③
 ①, ②, ③より(3辺がそれぞれ等しい)ので
 △ABC≡△DCB
- ΔEOPと△FOQにおいて 仮定よりEO=FO・・・① 対頂角は等しいので∠EOP=∠FOQ・・・② またAB//CDより,錯角は等しいので∠PEO=∠QFO・・・③ ①,②,③よりI辺とその両端の角がそれぞれ等しいので △EOP≡△FOQ 合同な三角形の対応する辺は等しいので OP=OQ